

# 平成27年度年度事業報告書

(法第28条第1項関係)

平成26年10月1日から平成27年9月30日まで  
特定非営利活動法人アジア失明予防の会

## 1. 事業実施の報告

### 1 事業実施の報告

今年度の医療技術指導は、主にベトナムの地方病院にて眼科医療のサービス向上を目指し、地方の眼科医師らへの医療技術指導および教育を行った。ハノイ国立眼科病院は新病棟が建ち、診療および治療・検査室が増えたが、患者数はそれを上回りバンク状態で、冷房もない劣悪な状況にも関わらず、診療をずっと待っている状態で、それに対して少し高い診療費用を払っても冷房が付いている待合室で、ゆったりと診察・手術を受けられるVIPサービスの診療階もでき、患者さんに順番表示をするなどサービスの向上が見られこちらも満杯状態。こうした状況を鑑みて、服部医師は、日越両政府の支援により、ハノイに日本国際眼科病院を設立(資本金1億円)し、日本のホスピタリティーで患者さんをお迎えし、日本や海外の眼科病院と何ら変わらない高度な設備を整え、ベトナムの人々やベトナム在住の邦人・外国人の診療や治療が安心してできるシステムを立ちあげるとともに、研修医師の受け入れも行っている。将来的には、この病院の収益の一部をアジア失明予防の会に寄付していただき、貧困層の治療費用にあてたいと考えており、実際に治療費が払えない人々に対しては、無償での治療も行っている。

治療支援事業は、毎月各地方において無償の網膜硝子体手術および白内障手術を行い、約900名の患者さんに治療支援を行った。地方の人民委員会や医療保健局、プロジェクトを行う病院、および現地の眼科医師などと連携をはかり、非常に順調に行われているが、新しく人民委員会よりお願いされたHa Tinh省、Yen Bai省などは現地の保健局や現地の病院まではウエルカムであり、プロジェクトを進めていくに当たり、現地の眼科医師の協力が得られずプロジェクトを断念せざるを得ない現状があることは非常に残念なことである。ところで、保健省の通達によりNGOのチャリティー活動も厳しく制限され、現地での外国人による医療活動には、一部の地域ではベトナムでの医師免許や看護師免許などが無いと医療行為が行えないなど、情勢がきびしくなっている。一方、ボランティアの参加者は増える一方で、今年度より講演会を機に四条畷高校の生徒らがボランティアに参加し、大変好評であったために、来年度も12月に参加する。また、山口大学の医学生が毎年参加し、ボランティアの参加が後輩に受け継がれていることは非常に好ましい。栗原医師が、ラオスでの医療支援活動を行っており、これまでビエンチャンの国立眼科病院のみであったが、ラオスの地方ではじめてチャリティー活動を行い、今後とも継続していく予定である。そのため、参加者らの安全確保に全力を注いでいる。

物資支援事業では、日本政府の草の根支援無償で、Bac Kan省のアイセンターに対して白内障手術機器や手術器具、YAG Laserの支援を要請中であり、平成27年中には実施される予定となっている。また、今年度は浄財の寄付金などが増えたため、アジア失明予防の会としても、ベトナムにおいてなかなか支援が行き届かない地方病院に対して、スリットランプ、YAG LASER、手術用顕微鏡、A & B Scanなどの寄贈を行い、各病院としては、とても小さな草の根の支援であるが、非常に有効利用されて喜ばれている。広報活動は、服部医師が各地で講演活動をしたり、企業回りをし、地道に寄付を集め、また講演会で知り合った宮本さん、高橋さんらが今年もボランティアによるチャリティーパーティーを9月末に東京で開催したり、メガネのPari-Mikiが各店舗にi-padを用いて私たちの活動を宣伝し募金活動をしたり、クレディーセゾンカードに付与されるポイントによる寄付など、私たちの活動の支援の輪が広がってきている。こうした活動は日越友好の懸け橋となっており、13年間にわたる献身的な活動が評価され、平成26年12月に服部医師に対してベトナム政府より外国人最高位となる「友好勲章」が授与された。

平成27度事業報告書

(法第28条第1項関係)

平成26年10月1日から平成27年9月30日まで  
特定非営利活動法人アジア失明予防の会

1. 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	予算額	支出額(千円)
医療技術指導①	眼科医療技術の教育・指導・普及や医療技術スタッフの派遣	年度内9回 111日 H26 10.8-22 11.10-23 12.19-1.1 H27 2.9-21 3.11-23 4.9-18 5.2-12 6.6-15 8.6-19	◎ベトナム ハノイ市(国立眼科病院・ハノイ市立眼科病院・日本国際眼科病院など) フエ市(フエ眼科病院) ハイフォン市(ハイフォン眼科病院)  タインホア市(タインホア眼科病院)  ◎ベトナム-クアンニン省・バクカン省・ピンフック省・ ◎ラオス-ピエンチャン・サバナケート地方病院などで超音波白内障手術の教育・指	5名	ベトナム、ラオスなどの医師や看護師など医療スタッフ	3,500	4,579
医療技術指導②	アジア諸国と日本の眼科医療従事者の技術・情報交流の促進	年度内2回	ベトナム、日本国内	5名	ベトナムの医師2名	200	0
治療支援①	貧困により目の治療ができない人々への治療の斡旋・支援や眼科検診などの啓発活動	年度内10回 1046名	◎ベトナム ハノイ市・フエ市・ハイフォン市  クアンニン省・ピンフック省・ニントアン省・バクカン省、  ◎ラオス-ピエンチャン・サバナケート地方病院など	10名	ベトナム、ラオスなどの国々の貧困層の人々	6,000	9,252
治療支援②	アジア諸国の眼科患者の日本での治療の斡旋、支援	年度内0回	日本国内	1名	ベトナムの患者		0
物資援助	眼科医療資機材などの提供	年度内8回	ベトナム、ラオス		ベトナム、ラオスへの病院	5,000	11,753
広報活動	ホームページ・DVD/レター・講演会によるPR活動・チャリティーパーティーなど	随時公開	日本国内	4名	広く一般に	1,300	2,438